

建設水道所管

〔質疑〕ソフトボール場の改良工事内容について伺いたい。

〔答弁〕ソフトボール場改修工事に3百27万6千円を計上している。

工事内容については、現在、ソフトボール場が対面式になっているが、その中で課題としてデッドライン(ファウルボールのライン)が一部2メートルほど短い状況である。協会の方々といういると知恵を出して、今回そのラインを少し平行移動することによって1面は解消できる見通しがついた。

また、ファウルボールラインと、公園の通路との間の幅が狭く、プレー上、余裕があった方がいいという要請も受けて改修しようとするものである。

具体的には、堤防側の内野1面の土の入れかえを2センチの厚さで、約1千平方メートルほど行う。

それから1面のベースの取りかえ、そして、バックネット

の網が一部破れて老朽化しているので、1基分を取り替えるようとするものである。

また、ダッグアウトとして、1塁側と3塁側に12人ずつ座る、イスなどを設けたい。

そのほか、対面側のバックネット、スコアボードについては老朽化して錆びているので、塗りかえを計画している。



特別会計

〔質疑〕下水道事業で、工設計委託料1千万円を減額補正して、工事請負費を1千万円増額する理由について伺いたい。

〔答弁〕公共下水道事業の委託料については、入札執行し

た結果、低額の入札となった。この事業は補助対象なので、その入札差金1千万円を今回、工事請負に組み替えをしたものである。

未整備地区や、福岡長袋地区の工事等、今後の工事計画があるので、そちらに建設促進のため、費用を充てようとするものである。

農業集落排水事業については、工事が大分進んできたが、その結果として、単独事業の工事が出てきた。そのための費用として設計委託料30万円も併せて補正するものである。単独事業の工事の概要については、管路延長約3百40m程度の工事を見込んでいる。

越河はだいぶ、本管布設が進んできて、補助事業対象外となる工事が多くなつた。

最終的に工事が末端の方になつてくると、戸数が1戸という工事場所が増えてくるが、そういうところは単独事業になる。

工事促進上どうしても単独工事が発生してくるので、今回1千70万円の工事請負費を増額しようとするものである。



工事の進む越河地区農業集落排水事業（排水処理場）

〔質疑〕10億の水道事業の予算規模にあつて、平成18年度8億8千万円の繰り越し金が、1億円ぐらい減少すると予測されるが、繰り越しが激減する理由を伺いたい。

また、これは一時的な減少なのか、今後とも減少を続けるのか、どのような見通しを持って水道事業にあたっているか伺いたい。

〔答弁〕繰越金が毎年激減しているのではないかとこのことについて、平成15年から17年度の決算で比較すると、2千8百万円ほど減少している。

この一番の大きな要因は、水道料金については、平成7年に値上げをして以来、一度も料金を上げていないが、一方、その間に、平成12年・18年の2回にわたって仙南・仙塩広域水道の料金が改定され、今回は5.7%ほど上がったが、当市の水道料金にはこれを転嫁しなかったことにあると見ている。

来年になって決算の段階になれば、繰越金が8億8千5百万円から、もう少し残る形になる。これについては企業努力をした成果である。

これは、すべての予算を網羅して計上しているため、その中で不用額が出る場合などもあるから、当年度予算額が、来年の決算見込みでプラスになると見込んでいる。

さらに、収益的事業でも、平成15年には損失が出たが、あとはほとんど利益が出ているので、これらを見ると、減額幅はそう大きくはなっていないと考えているが、今後とも経費の削減に努めなければならぬと考えている。